



はばたきだより



理事長挨拶
理事長 藤本 保

十年目を迎えたはばたき

大分こども心理療育センター愛育学園はばたきは、二〇一五年四月に開設しました。満九年が経過し今年の四月から十年目に入ります。一つの節目を迎えたこの機会に、理念に基づく支援の在り方をより深く追求していきたいと決意を新たにしています。

この九年間にいろいろなことがありました。職員の献身的努力でコロナ禍は何とか乗り切ることができましたが、本来なら受け入れ心理療育を行うべき対象児童を、その時点の我々の能力では受け入れ困難と判断した事例もありました。それには種々の要因が絡んでいました。最大の課題は職員定着率の向上であると認識しています。支援の質(力)は職員全員の結果です。経験を積み知識や技術を獲得した職員が一人でも欠けるということほど大きな損失はありません。職員個々人の事情はそれぞれあるでしょうが、職場環境が原因であることは避けたいと肝に銘じています。

実践したことを公に発表し専門家の評価を受けることは大事なポイントです。第三者評価システムによる評価はありますが、学会の場で学問的な評価を受けることがさらに重要なのです。すぐに役に立つ情報が常に入ってくる仕組みとして、児童心理療育施設間交流による情報共有も知識や技術の向上に有用です。コロナ禍で失われた交流が復活することに期待します。

ありがたいことに種々の団体や個人から物心両面での援助をいただき、お陰様で子どもたちの日常に大きな変化と心のよりどころを与えていただいていますことに感謝申し上げます。また、地域の方々の交流も続けていただいております。これは、「はばたき」が在り続けるために大きな支えとなっております。

これからも職員一同研鑽を重ね、支援してくださる方々や団体、地域の方々とともに支援の質を高めてまいります。そして、子ども達に安心・安全のもとに信頼を築き、はばたきを利用した子どもたちが自らの力で未来を切り拓き、素晴らしい人生に向かってはばたいていけるよう尽力いたします。

施設長挨拶

施設長 高塚 秀夫

自然に囲まれた環境

はばたきは、大分市街地の高台に位置し、周囲は住宅団地、高校、竹林、桜の木に囲まれ、グラウンドの彼方にはまだまだかな稜線が広がり大分市民なじみの深い霊山が眺める環境です。

はばたきの子どもたちは、四季折々の草花や周囲の木々の変化などを日々体感し生活しています。春には、竹林に入りスコップや鍬を使ってタケノコを掘り「おっさいのとれた!」と元気にはしゃぐ声が聞こえてきます。

グラウンドの一面にある「はばたき農園」では、四季を通じてジャガイモやトマト、大根などを植えています。水やりや収穫作業を体験し自然の恵みや共同作業の大切さを



を学ぶ食農教育にも取り組んでいます。

入所児童の中には自然に触れた体験が少ない子もいます。昆虫などの生き物や草花を見て触れて、時に不安になり振り返ると温かく見守る職員がいろんなことを教えてくれる、そんな体験の積み重ねが情緒的にもよい影響を与え健全な成長につながっていると思います。

子どもたちは、自然に囲まれた「はばたき安全基地」で職員や他児童と共同生活を送り心も体も筍のようにぐんぐん大きくなっていきます。はばたきも十年目の節目を迎えます。スタッフ一同今後さらに成長していきたいと考えています。



校外学習



11月22日(水)に小学部、12月14日(木)に中学部が、バスやJRを利用して校外学習にでかけました。小学部は、福祉センターでのアイマスク体験や市民図書館を利用しました。中学部は、歴史資料館に行き、資料館見学と勾玉づくりを行いました。その後、商業施設にて買い物を楽しみました。

分校から外に出て様々な体験ができたことは、児童・生徒にとって、とてもよい経験となりました。

オープンスクール



令和5年度は、6月・11月にオープンスクールを実施しました。たくさんの参観者がいるなかで、緊張気味の児童・生徒たちでしたが、日ごろの授業の様子を参観してもらうことで、児童・生徒・分校の教職員も励みになりました。授業は、「個別・最適な学習」を実現できるよう、UD授業を基本にICT機器を活用して行っています。アセスメント力が求められ、内容を精選して実践する毎日ですが、児童・生徒が、学ぶ喜びを感じた時の1時間は、私たちもやりがいを感じます。今後も、児童・生徒が意欲的になるよう、授業改善に取り組んでいきます。

ふれあい運動会



10月14日(土)「ふれあい運動会」を実施しました。本校の体育館で児童・生徒が一堂に集い、学園の職員と一緒に競技を楽しみました。開会式では、児童・生徒全員が目標を発表することができました。小学部のリレーでは、児童全員が2チームに分かれ、一生懸命にバトンをつないでいました。中学部の生徒と学園の職員とで力を合わせる競技では、団結した様子がよくわかるものでした。ルールを守り、みんなで実施できた運動会は、きっと児童・生徒の良き思い出になったことと思います。



研究授業の様子



今年度の研究は「『自立に向けて主体的に学ぶ児童生徒の育成』～アセスメントシートに基づいた自立活動における言語化の指導の工夫を通して～」をテーマに掲げ小学部は縦割り班を活用し、SSTや運動会、全体音楽、校外学習などの取り組みを行う中で検証していきました。中学部も、各教科の中で、アセスメントシートを活用し、各生徒の得意分野などを分析し、ゴールを設定した提案授業を行いました。各学部ともに創意工夫した取組で、児童・生徒が変容していく様子が見られ、有意義な研究となりました。これからも、児童・生徒の自立に向け、継続して研究していきます。



新人職員を紹介します!



看護師 木梨 聖子

はばたきに勤務して半年が経ちました。子どもたちと過ごす時間は慌ただしく過ぎていきます。予期せぬことも起こるので、気を張ることも多いですが、子どもたちの笑顔や元気に遊ぶ姿を見ると、私も元気になります。毎日の関わりでは気づきにくいですが、友だちとの関りや大人との関わり、学習や日常生活を通して成長していることを感じます。個々の成長が楽しみです。

子どもとの関わりで大切にしていることは、子どものありのままを受け入れて誠実に対応

することです。子どもが言ったことを、否定からではなく、一度受容してから話を聞くようにしたいと思っています。なかなか難しいことですが、関わり方を学びながら個々に対応できるようになりたいと思います。また、子どもは大人のことをよく見ているなあと感じるので、言葉づかいや行動に気をつけたいと思います。

子どもたちが元気に過ごせるように努めたいと思います。

趣味 ホットヨガ

児童指導員 山田 耕太

私は昨年の4月に入職し、指導員として働いています。前職も他県の児童心理治療施設に勤めていました。どちらの施設でも、子どもの様子に大きな違いはなく、日々、子どもらしい純粋な笑顔や思考、こだわりや発達特性、他者への不信感などを目の当たりにし、一喜一憂しています。

そのような中、私は子どもとの関わりで「安心・安全」の提供を大切にしています。施設に入所する児童のほとんどが、適切な愛情や養育を受けることができずに育ってきています。そんな子どもたちが大人を簡単に信用や信頼することは難しいため、まずは信用できる大人であることを感じてもらえるよう、暴言や暴力がなく落ち着いた生活環境の提供したり、子どもの意見や思いを受容する姿勢を見せたりし、安心と

安全の確保を意識しています。信頼関係を築き、適切な感情の表出ができるよう、日々の生活一つ一つに注力して、支援を続けていきたいと思っています。

趣味 喫茶店巡り、カメラ、漫画

特技 バスケットボール

好きな食べ物 プリン

好きなアーティスト Little Glee Monster

好きな言葉 ポジティブ

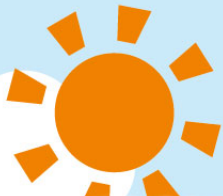
今年始めたこと 九州観光

好きな漫画 ONE PIECE、BLUE GIANT

管理宿直 中島 遼(はばたき卒業生)

私が子どもたちとの関わりで大切にしていることは、「自分にはできない」と諦めさせないことです。子どもたちと遊ぶとき「僕には無理」とやる前からあきらめてしまう子どもや、「少しやったけど上手くできないから」と自信をなくしてしまう子どもがいます。私も以前はすぐに諦めて自信をなくしてしまうタイプでしたが、何かに挑戦し、それができるようになる

ことで達成感が得られ、自信をもつことができると体験的に学びました。このことから、子ども達にも出来ないまま終わるのではなく、出来るまで諦めずに挑戦してほしいと思っています。そのためにも上手くできない子にはアドバイスし、たとえ失敗してもなぜ失敗したのかを一緒に考え、次に切り替えるように声掛けしています。



おひさま広場

集団活動を通して、対人スキルを身につけることなどを目的に
 昨年度から開始したおひさま広場ですが、今年度は10回取り組むことができました。
 集団参加の苦手な子どもたちも、少しずつ雰囲気になれ、
 活動を楽しみに待ってくれるようになりました。

作戦会議中



どうしたらうまくできるか、
 子どもたち同士で話し合いを
 しています！

フラフープリレー



みんなで協力してフラフープを
 つないでいます！

制作活動



グループに分かれてちぎり絵を
 しました♪
 各グループで制作したものを
 組み合わせると、1つの作品が
 完成しました☆



シェアリング



活動の最後には、グループ毎に
 活動の感想を共有しています！



はばたきの年間行事



今年もいろんな活動を経験することができました!



春のパン祭り



上手に焼けるかな?



ボウリング大会



みんなまでボウリングに出かけました♪

今年は水球に挑戦しました!

ロータリークラブ



カレーフェス



今年も個性豊かなカレーができあがりました☆

クリスマス会



今年もいろんな出しものがありました♪

初詣



地域の神社で初詣!



ふにち

はばたき縁日

8/7
開催

今年初めてのイベントで、夏に縁日が催されました！
いろんな屋台や活動に、子どもたちの目もキラキラ
輝いていました。



お腹いっぱい食べました！





カラオケ大会も開かれました♪



カタヌキに挑戦中☆





寄付・ボランティアへのご協力 ありがとうございました!!

本年度、寄付金・寄贈品・ボランティア等にご協力下さいました皆様をご紹介致します。〔順不同・敬称略〕

音楽ボランティア

- 田口 千里 ● 生田 純子 ● 阿部亜紀子 ● 生田 明奏 ● 中村 慎吾 ● 中村 圭志

その他ボランティア

- 佐古 健二(美容室gic代表) ● 甲斐 博子(生活支援ボランティア)
- 後藤 鉄平(生活支援ボランティア) ● 二宮美里奈(生活支援ボランティア)

特別活動主催

- 大分1985ロータリークラブ ● 大分県立大分商業高校水球部の皆様 ● SUNRISE CAFÉ

寄付

- 公共社団法人 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会大分県協会
- 大分銀行労働組合 ● 大分県養豚協会 ● 大分県農業共済組合
- 大分県連合みどり会 ● 大分1985ロータリークラブ ● むぎの会(NPO法人)
- 九州納豆組合 ● NHK歳末助け合い募金 ● ペんぎん村 ひろゆき
- 後藤 友美(元はばたき分校教員) ● 入所児童祖父母 ● はばたき職員

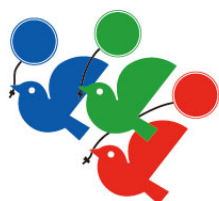


編集後記 ～はばたき10年目に向けて～

「愛育学園はばたき」は来年度で、10年目を迎えます。開所当初は、児童も職員も定着せず、多くの職員が離職していきました。支援の方針や、労働環境など立場を越えて話し合いを続けていき、ここ2～3年できるよう組織として安定してきたように思えます。若い職員も、年数を重ねていくことでチーム

の中心になり、世代交代が進んでいます。これからも20年、30年と続いていくために「はばたき」の築き上げた文化を大切にしていきながら、組織全体の資質向上を目指していきたいと思っています。

令和6年3月 はばたき広報委員会
三重野 貴裕



社会福祉法人藤本愛育会

大分子ども心理療育センター

愛育学園はばたき

〒870-0948 大分県大分市芳河原台11番29号

TEL (097)578-7755 FAX (097)578-7756

<http://www.oita-kodomo.net/habataki/>